

「2019年4～6月期 中小企業 景気動向調査」 結果報告

一業況DI、2017年3月以来9四半期ぶりにマイナス水準に突入一

一般財団法人しんきん経済研究所は、県西部地域の中小企業を対象に行なった「中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたので、ご報告します。

1. 調査概要（調査／しんきん経済研究所、協力／浜松商工会議所）

調査時期	2019年6月1日～7日
調査対象	静岡県西部地域の中小企業 658社
回収状況	回収数 639社（回収率 97.1%）
調査方法	調査表を用いた面接聴取（遠州信用金庫、浜松いわた信用金庫に委託）

2. 調査結果

① 2019年4～6月期の業況

県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－8.1となり、2019年3月の前回調査（0.1）と比べて8.2ポイントの悪化となった。前回に引き続いての悪化となり、2017年3月以来9四半期ぶりにマイナス水準に突入となった。

② 2019年7～9月期の見通し

次回の業況DIは5.1ポイント悪化の－13.2を見込む。

③ 主な業種別の動向

業種	調査数	業況DI			動向
		前期	→ 今期 →	次期見通し	
全体	639	0.1	-8.1	-13.2	
製造業	328	-1.9	-12.8	-19.0	自動車他すべての業種でプラス水準が消滅し、停滞感が強まる。
二輪車部品製造	54	-8.2	-24.1	-24.1	米中貿易摩擦の影響もあり、業況DIのマイナス幅が拡大。
自動車部品製造	70	13.8	0.0	-4.3	業況DI、2016年12月以来10四半期ぶりにプラス水準が消滅。
機械部品製造	57	2.0	-10.5	-25.0	業況DIは悪化し、8四半期ぶりのマイナス水準。中国市場の低迷が影響。
楽器部品製造	21	-11.1	-14.3	-23.8	業況DI悪化、6四半期連続のマイナス。原材料価格が上昇、利幅が縮小。
繊維製造	25	-16.7	-12.0	-28.0	秋冬向けの生産が不調。業況DI、4四半期連続のマイナス。
製茶製造	17	-16.7	-23.5	-35.3	18年6月から調査開始。お茶のシーズンであり、売上・収益は大幅改善。
製材製造	16	0.0	-12.5	-12.5	18年6月から調査開始。業況DIは悪化し、再びマイナス水準へ。
卸売業	75	-2.7	-16.0	-20.0	業況DI悪化、2四半期連続のマイナス。仕入価格の上昇が収益を圧迫。
小売業	59	-15.5	-27.1	-22.0	業況DI、3四半期連続の悪化。一部でGWが追い風になった。
建設業	70	25.0	15.7	11.4	消費増税前需要、民間工事好調にて、業況DI、8四半期連続のプラス。
不動産業	45	2.3	4.4	-6.7	業況DI、2017年3月以来10四半期連続のプラス水準を維持。
飲食・宿泊・レジャー等	19	0.0	10.5	-5.3	令和の祝賀ムード、GWの10連休特需で、業況DI改善。

本件のお問い合わせ先

一般財団法人 しんきん経済研究所 / 澤柳 / TEL053-452-1510
〒432-8036 / 浜松市中区東伊場2丁目7-1 浜松商工会議所5階